

静岡県精神保健福祉協会

News Letter -No.23-

巻頭言

静岡県精神保健福祉協会 常務理事

福原 崇元（静岡県健康福祉部障害者支援局障害福祉課 精神保健福祉室長）

本年度より静岡県障害福祉課の精神保健福祉室長、また静岡県精神保健福祉協会におきましては常務理事に就任させていただきました福原と申します。

平成30年8月の厚生労働省研究班調査によれば、日常生活に支障をきたす「ネット依存」の疑いの強い中高生が全国で推計93万人に上ると公表されており、若年層を中心とした対策の早期確立が必要と言われております。本年5月には、WHOが国際疾病分類の改訂において、アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症に加え、ゲーム障害を精神疾患に位置付けました。これらの状況を踏まえ、県では、今年度より「静岡県ゲーム障害・ネット依存対策事業」を実施し、県、教育委員会及び依存症治療拠点機関と連携し、障害の特徴や家族の対応の仕方など知識の普及啓発に努めるほか、若年層を対象に回復支援プログラムの提供を試行するなどゲーム障害・ネット依存症者への支援体制の構築に努めております。

アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症につきましては、法律により都道府県においてそれぞれの依存症に係る計画の策定が努力義務と規定されております。これを受け本県においては、平成30年3月に「静岡県アルコール健康障害対策推進計画」を策定したほか、ギャンブル等依存症に係る県計画の策定についても今後検討してまいります。

依存症は、物質的・精神的等の違いはありますが、患者自身が苦しむほか、家族や周囲の方をも巻き込むという点においては共通しております。一人でも多くの方が依存症の苦しさや困難から脱却できるよう、また依存症を未然に防げるよう微力ながら努めてまいりますので、静岡県精神保健福祉協会をはじめとする医療関係機関・福祉関係機関の皆様方のご協力をお願いいたします。





第58回 静岡県精神保健福祉協会 理事会・総会を 開催いたしました



理事会の様子



総会の様子

令和元年6月12日（水）静岡県男女共同参画センター（あざれあ）6階大ホールにおいて、第58回静岡県精神保健福祉協会総会が開かれ、協会役員、個人会員、各会員機関、団体の代表者の方々など多くの方が参加されました。

ご来賓として、静岡県議会厚生委員会委員長 伴 卓様、静岡県健康福祉部部長代理 藤原学様、静岡県経営者協会専務理事 秋山辰巳様に御出席をいただきました。

総会では、平成30年度事業報告、2019年度事業計画など4つの議案が審議され、無事可決されました。審議終了後には、知事功労別表彰、精神保健福祉協会会長表彰が行われました。



来賓祝辞
静岡県議会厚生委員会委員長
伴 卓 様



来賓祝辞
静岡県健康福祉部部長代理
藤原 学 様



来賓祝辞
静岡県経営者協会専務理事
秋山 辰巳 様

記念講演会

つい、そうしてしまう 心理学

医療法人社団益豊会 理事長
今宿病院 院長 深堀 元文 氏



講師
深堀 元文 氏

総会終了後、福岡県にある精神科病院の今宿病院院長深堀元文氏をお招きし「ついそうしてしまう心理学」を演題として、記念講演会を開催しました。

精神科病院の院長であるだけでなく、小説や心理学についての本を執筆する傍ら、ラジオやテレビでのコメンテーターとしてもご活躍されている深堀氏の興味深いお話に、会員の方々を始め公民館や図書館、ホームページ等でこの講演会を知った一般の方々も合わせ125人の方々が、自分自身や身近な人を思い浮かべながらニンマリと表情を緩ませて耳を傾けました。

講演は、自分の癖でわかる深層心理、態度で分かるあの人の気持ち、好き嫌いで分かるアイデンティティを切り口に話が進められました。重い話として、最近の児童虐待の問題も取り上げられました。「3.6日に1人の割合で子どもが虐待死している。自己嫌悪など自分の内面を子どもに投射して虐待、子どもに愛を求め、それが叶えられないと憎しみが湧いて、虐待するなど他者への怒りを子どもに転移させ、自分の衝動を止められないで虐待してしまう等の大人が増えている。虐待として逮捕された親は『しつけの一環としてやった』と説明するが、しつけは、一切の暴力を含まない諭しであり、心理的であれ、そこに暴力があればすべて体罰である」と親の心理について解説されました。一般の参加者の方にも、大変分かりやすい内容の講演でした。

心理学の本や小説をたくさん執筆されています



映像の隅のダルマさんがどことなく…





2019年度受賞者紹介

(敬称略)

2019年度知事功労別表彰（保健衛生功労）受賞者

お名前	ご所属
小野 清子 様	NPO法人精神保健福祉藤枝心愛会



2019年度静岡県精神保健福祉協会長表彰 受賞者一覧

◆ 特別功労表彰・個人

お名前	ご所属	お名前	ご所属
海野ふさ子 様	静岡県立こころの医療センター	遠藤 邦昭 様	静岡県精神保健福祉会連合会
三浦 啓輔 様	静岡県精神保健福祉会連合会	高瀬 寿子 様	静岡県精神保健福祉会連合会
黒谷 昌子 様	静岡県精神保健福祉会連合会		



◆ 永年勤続功労表彰

お名前	ご所属	お名前	ご所属
加藤 亮太 様	日本平病院	臼井 玲子 様	河津浜病院
鈴木 鏡象 様	好生会三方原病院	岩崎 益巳 様	鷹岡病院
		九川 哲也 様	鷹岡病院
		西館 正子 様	沼津中央病院
		中田多鶴子 様	溝口病院
		村松 茂 様	大富士病院



受賞おめでとうございます

こころの健康づくり講演会のご案内

精神保健福祉協会では、地域精神保健福祉思想の普及及び啓発を図り、県民の精神保健福祉の向上に資するため、適当と認められた団体に対し、こころの健康づくり講演会開催の支援を行っています。今年度開催された講演会と、9月以降開催予定の講演会をご紹介します。

すでに開催された こころの健康づくり講演会をご紹介します！

★「未来を切り開く人生の挑戦」
 ~発病・ひきこもり・再発を繰り返しながら未来を拓く~
 開催日：平成31年4月26日(金)
 会場：藤枝市青島北地区交流センター
 講師：精神障害者自助グループたんぼぼ会長 廣田祥久 氏
 豊橋精神障害者地域家族会会長 廣田容子 氏
 主催者：特定非営利活動法人 精神保健福祉藤枝心愛会

<講演会の内容等>
 「中学生の頃から精神科に通院。大学卒業後、10年間ひきこもり、訪問看護ステーションを利用して人生が開けた」という体験談で、再発を繰り返しながらもひきこもりから脱出しようとする強い意欲が伝わってきました。訪問看護の有用性、就労の大切さ、社会資源の有効活用等の体験を踏まえた貴重なお話でした。



★「心の病とのかかわりかた」
 開催日：令和元年7月19日(金)
 会場：湖西市民活動センター
 講師：訪問看護ステーション小豆餅副所長 秋山智恵子 氏
 主催者：NPO法人 さざなみ会

<講演会の内容等>
 事前の質問に答えていただく形で、アットホームな雰囲気での講演会でした。「当事者の方々に寄り添う距離感は明確なラインが無く、支援者がバランスを取っていかなくてはならない」というお話で、支援の難しさを改めて感じました。



9月以降 開催の講演会

開催日	会場	テーマ・講師	主催団体・連絡先
令和元年 9月21日(土)	菊川市中央公民館 多目的ホール	「会社に行きたくなくなった」 ～もしあなたがうつ病になったら～ 医療法人社団澤記念会神経科浜松病院院長 山岡功一 氏	菊川市精神保健福祉ボランティアあしたばの会 TEL0537-73-1020
令和元年 9月29日(日)	菊川市総合保健福祉センタープラザけやき 201会議室	質のよい睡眠とは？ ～すっきり目覚めるコツ～ サージセンター浜松（睡眠時無呼吸外来） 新島邦行 氏	菊川市健康づくり課 TEL0537-37-1112
令和元年 10月11日(金)	三島市立保健センター	自分を理解してストレスへの対応を学ぼう 臨床心理士 八木阿紀 氏	三島市保健委員会 （三島市立保健センター） TEL055-973-3700

★講演会への参加希望者は、直接主催団体へお問い合わせください。

心の健康フェア2019

講演会

メンタルヘルスのリカバリー ～実体験とそこから学んだこと～

「病気をえなければ人生もっと上手くいくのに」。こころの病のある方の中には、こんな気持ちになったことがあるという方もいらっしゃるかもしれません。今回の講演会では、数々の苦難を乗り越えて、ピアサポーター、WRAP®・ファシリテーターとして活躍されている増川ねてる氏をお招きし、ご自身のリカバリーストーリーをお話しいたします。

「病気があっても人生はリカバリーできる。なぜなら、人には自分をリカバリーする力があるのだから」。「誰にもリカバリーできる力が備わっている」。

増川氏は人生を通して、このことを知ったそうです。エネルギーにあふれる増川氏とリカバリーについて考えてみませんか。

*WRAP® (元気回復行動プラン) は、毎日元気でいるため、調子が悪くなった時などに元気になるための自分でつくる自分のための行動プランです。

11月21日(木) 13:15～14:30

会場 静岡市民文化会館 3階大会議室 (入場無料)



聴講ご希望の方は、**11月15日(金)**までに、FAXか電話、またはメールにて、静岡県精神保健福祉協会までお申込みください。

【お名前、電話番号記載】

ご参加に配慮が必要な場合(手話通訳等)は10月25日(金)までにお知らせください。

講師 アドバンスレベルWRAP®・ファシリテーター
増川 ねてる 氏

新潟県小千谷市出身。2007年よりWRAP®・ファシリテーターとしての活動を始める。2011年には10年間受給していた生活保護を抜けて自立。紆余曲折ありながらも、現在は全国各地でWRAPワークショップや講演活動を行っている。

認定NPO法人COMBO地域精神保健福祉機構(コンボ)理事(2010年～)、NPO法人精神科作業療法協会POTA理事(2017年～)

静岡県精神保健福祉協会

〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20 県総合庁舎別館4階
TEL&FAX 054-202-1220 E-mail: sizuoka_seisin@ybb.ne.jp
(事務局出勤日 月・水・金 9時～16時)

第41回ハートフルアート展 入場無料

静岡市民文化会館 A展示室
11月15日(金)～11月21日(木)
9:30～16:00 最終日13:00まで
11月18日(月)休館日



ホームページは
こちらから



【当協会の活動に御賛同いただいている 会員企業様】 (敬称略・順不同)

静岡銀行・浜松いわた信用金庫・島田掛川信用金庫・(株)J-オイルミルズ静岡工場・(有)サカエ印刷・(株)日本軽金属蒲原製造所